

一般社団法人日本粘土学会 平成 30 年度第 2 回常務委員会議事録

日 時：平成 30 年 1 月 27 日（土）13:00～14:50

会 場：国際文献社高田馬場会議室（東京都新宿区高田馬場 4-4-19）

出席者：常務委員（17 名）：八田珠郎、千野裕之、小暮敏博、河野元治、日比野俊行、蛭名武雄、小口千明、佐藤 努、志々目正高、篠原也寸志、鈴木正哉、田村堅志、手束聡子、丸茂克美、山崎淳司、横山信吾、鈴木憲子

委任状提出常務委員（1 名）：太田俊一

監事（2 名）：月村勝宏、山崎淳司

事務局：川島朝子

成立確認：常務委員総数 18 名の過半数 9 名

出席常務委員 17 名、委任状提出常務委員 1 名、合計 18 名で常務委員会の開催は成立

審議事項

1. 平成 30 年度事業中間報告（資料 1）

(1) 学術雑誌の編集と発行

1) 粘土科学：日比野編集委員長から資料を基に報告がなされた。

2) Clay Science：蛭名委員長から資料を基に報告がなされた。

(2) 研究発表会・見学会等の開催

1) 第 61 回粘土科学討論会（富山大学）の開催：丸茂実行委員長から資料に基づき報告がなされた。

2) 第 62 回粘土科学討論会（早稲田大学）の準備：山崎実行委員長から資料に基づき報告がなされた。

(3) シンポジウム・セミナーの開催

1) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム開催：田村企画委員長から資料を基に報告がなされた。

2) 第 61 回粘土科学討論会でのシンポジウム準備：田村企画委員長から資料を基に説明がなされた。

(4) 参考粘土試料：鈴木委員長から資料を参考に報告があった。

(5) 広報：横山委員から資料を基に報告があった。

(6) 渉外：佐藤委員から AIPEA ニュースレターは送付済みであることが報告された。また、第 3 回アジア粘土会議は 2019 年もしくは 2020 年の 11 月に開催の方向で準備を進めていることが報告された。

(7) 表彰：河野常務委員長から資料にもとづき報告があった。なお、粘土科学討論会における優秀講演賞についても本報告に含めることが提案された。

(8) 研究促進：河野常務委員長から報告があった。

(9) 庶務：篠原委員から資料および別紙に基づき報告があった。

(10) 学会誌等の電子化：河野常務委員長から資料をもとに、J-Stage への登録状況および登録準備状況について報告があった。

(11) 常務委員会および理事会：河野常務委員長から常務委員会・理事会の開催報告があった。

以上、審議の上承認された。

2. 平成 30 年度会計中間報告（資料 2）

志々目委員から資料を基に報告があった。収入では会費の未納が全体で25%あり、催促が必要である事、また予算額と比較して広告収入が少ない事が説明された。支出の「棚代」には旧事務局分が含まれるとの説明があった。また旧事務局への未支払金 72,144 円について確認が必要であるとの意見が出された。大筋では順調に推移しているが更なる節約と会員の増強が必要であることが確認された。以上、審議の上承認された。

3. Clay Science 電子ジャーナル化後の冊子体購読料（資料3）

河野常務委員長から資料に基づき説明があった。冊子体の希望についてアンケートをするのに先立って年間購読料を決める必要があり、3,000 円が提案された。会費を含めて10,000 円は許容範囲ではないかという意見が委員から出された。広告費の取り扱いについては蛭名編集委員長に検討をお願いすることとした。以上、審議の上承認された。

4. 会費請求時期の変更について

河野常務委員長から当該年度の年会費を前年度の会計年度末（7月31日）までに納めてもらうことが提案された。この変更により、Clay Science 電子ジャーナル化後の冊子体購読希望者は年会費と一緒に年間購読料を納付することで、当該年度8月発行号から冊子体の有料購読が可能となることが説明された。今年度については年度内に2回の請求となってしまうが、移行時期であることを会員に説明すれば納得してもらえとの見解が出された。以上、審議の上承認された。

5. 研究グループの設立について（資料4）

河野常務委員長から資料を基に研究グループ「粘土鉱物を利用した革新的材料創製グループ」の設立申請について説明がなされ、承認された。

6. 広報委員会の設置について（資料5）

横山委員から広報の担当業務について現状の説明がなされ、粘土科学 Q&A 等の対応にはその分野に精通した人材が必要であることなどの諸事情から広報委員会の設置が提案された。審議の結果、設置する方向で検討を続けることとした。

7. 粘土科学討論会

(1) 第61回粘土科学討論会会計報告（資料6）：丸茂実行委員長から資料に基づき報告がなされ、承認された。

(2) 第62回粘土科学討論会について：山崎実行委員長より実施計画案が示され、内容等の一部修正したうえで承認された。

(3) 第63回粘土科学討論会について：河野常務委員長から第63回粘土科学討論会は小口委員を実行委員長とし埼玉大学で開催したいとの提案があり、了承された。次に小口委員より挨拶がなされた。

8. その他

・参考粘土資料の価格改定について：鈴木委員長から別紙（価格の改定と申込書）の説明がなされ、承認された。なお、カオリナイトは JSCC-1101b の在庫があることから、在庫が終了するまでは申込書の「c」は「b」に訂正して領布することが報告された。

報告事項

1. ホームページの CMS セキュリティサポート（資料 7）

河野常務委員長より資料を基に CMS セキュリティサポートを導入したことについて説明がなされた。

2. その他：特になし。

以上の決議を明確にするため、この議事録を作成し、常務委員長及び監事がこれに記名押印する。

平成 30 年 2 月 7 日

一般社団法人日本粘土学会 常務委員会

常務委員長 河野元治 ㊞

監 事 月村勝宏 ㊞

監 事 山崎淳司 ㊞